



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.hiroei.jp>

威風堂々 (いふうどうどう) 。下克上 (げこくじょう)

【威風堂々】◇態度や雰囲気、威厳(いげん)があつて立派な様子

【下克上】◇下位の者が上位の者の地位や権力をおかすこと。下、上に克(か)つ、の意味

都合により2ヶ月休ませて戴きました。その間、日本では相変わらず政治の混乱が続き、進むべき道筋が定まらず右往左往しています。こんな状態では良識ある国民は政治不信と政治離れを起こしてしまいます。今号は私の思いを綴りました。

アメリカでは、日本と同じように経済不安定の中「CHANGE」「YES WE CAN」と華々しくオバマ新大統領が就任しました。苦境のどん底に陥っている今だからこそ「救世主」として期待されています。あの『威風堂々』とした演説を見る限り、期待を裏切らないものと確信しています。リーダーは、年齢が若いとか経験が浅いということは問題では

ありません。如何にやる気があるかと取り巻くスタッフの優秀さにあると思います。どんなに優れたリーダーでも一人の力は知れています。

日本の戦国時代に名を成した名将の陰には、必ず知将と言われる参謀がいました。リーダーが方針を誤ると必ずと言えるくらい『下克上』が起きてしまいます。また、船頭が多くても船は前に進みません。

千葉県も国同様に、地位に見合った統率力に長(た)けたリーダーは、残念ながら存在していません。まだまだ年功序列、高齢者の議員が幅をきかせています。古くなった議員にはCHANGEはできません。己れの地位保全に走り惜けなくなります。

船橋市ではどうでしょうか。

今年の6月下旬頃には船橋市長選挙があります。藤代市長は、停滞した市政刷新を訴え「私は3期まで」と公約し当選しました。まもなくその3期目が終わります。堅実な市政運営を評価して4期目を望む声が多くあり



織田信長



ます。

藤代市政誕生の際、私は議員ではありませんでしたが、末期症状が見えた前市政をCHANGEすべく藤代現市長を精一杯応援しました。長期政権の腐敗が目に残ったのです。藤代市長の1期目はその整理に追われました。自分の思いを市に反映させ始めたのは2期目といっても過言ではありません。少し苦しい言い訳に聞こえますが、その意味で現在は実質2期目で、もう1期あってもおかしくはないのかな、とも思っています。



藤代市長本人はまだ意志表明をされていません。もし、次もおやりになるのなら、一つだけ注文があります。それは優秀なシンクタンクを持って欲しいのです。そしてそのシンクタンクへ様々な意見や提言が届くシステム作りをして欲しいのです。現場（職員等）の前向きで良い意見が市長に届く前に消滅しているという話がよく耳に入ってくるからです。



今度は、私たち議員のことです。議員もCHANGEの時です。どんな目的で議員になったのか、初心を忘れてはいないのか、もう一回原点に戻り見直すべきです。現在の議会を見ていると50人いる議員は30人に減じても十分ではないかと思っています。本気で市民のことを考え行動する人が30人いれば足ります。

市議会は外からでは解らないことが多くあります。市長や管理職でさえ解らない部分が多いのが議会です。中傷合戦もあります。こんなことを書くと私も誰かのホームページで批判されてしまうかも知れませんが……。他人を批判する前に、自分は市民から選ばれ市民のために働くことが使命であることを深く認識すべきです。

市役所の10階に私たち議員の控室があり、議会開会中はそこにいます。また、議場も同じ階にあり、そこで本会議を行います。本会議の最初は市長から提案の議案質問です。これは各会派の代表質問となります。その後5～6日かけて一般質問をします。ここで議員が自分の意見や提言、或いは市民の声を行政側に質問します。

私が議員になって約6年になりますが、その間、全ての議会で皆様の目線に立って様々な質問をしてまいりました。私の公約は「徹底して無駄を無くし、必要な方に必要なものが得られる税金の有効活用」「不満を満足に」「不安を安心に」です。皆様の不満や不安を教えてください。



2月26日からは3月議会が始まります。是非、11階から本会議を傍聴され、いろいろな議員の仕事ぶりをご覧になることをお勧めします。